

当校に関するQ&A

授業時間数は、1日だいたいどのくらいでしょうか。

授業は主に平日の午前中 10:00~12:00、夜間 18:30~20:00、20:00~22:00 の3クラス、土曜は 9:30~12:30、13:30~16:30 の2クラスに授業が入るのが一般的で、大体一日4時間~6時間といったところです。平日の午後に授業が入ることもございます。

平日のグループレッスンには主に月・水もしくは火・木という週2回というセットで授業を組んでいます。7月初旬~9月上旬は夏休みクラス、1月中旬~2月中旬は冬休みクラスがありますので、先生方にはお昼に授業があつたりしてがんばってもらっていますが、個人の都合や体力などもありますので、そここのところは個別に相談しながら授業をアレンジしています。

そちらで働いていらっしゃる日本語教師の方は、何人くらいいらっしゃいますか。

日本語教師は合計28名です(日本人25名、台湾人3名)。

テキストは何を使っていらっしゃいますか。

初級は「みんなの日本語」、中級以上は、目的に応じて会話中心クラスなら「みんなの日本語中級」、「中級を学ぼう」、「日本語上級話者への道」、日能試対策なら「日本語能力試験対応文法問題集」、「日本語上級読解」などを使用しています。

直説法、間接法、どちらでしょうか。

対象はすべて中国語話者となりますので、すべて直説法で教えることは非効率的といえます。言語を学習するとき、誰でもそうなのですが、新しい文型を学ぶ過程において無意識的に必ず母国語と対照していると思いますので、その力を利用して文型の解説では、中国語と日本語の文法上の構造上の違いを必ず説明し、まずは頭で理解していただきます。そして例文を読んだり、タスクをこなしていくことにより日本語を感覚的に身につけて行ってもらいます。いわば直説法と間接法の双方の利点を活かした授業ということかもしれません。

実際に教える場合、担当する学習者のレベルは決まっているのでしょうか。

授業は主に、みんなの日本語を使った会話クラスを担当していただきます。まずはみんなの日本語で十分基本を養ったあと、違う教科にチャレンジしていただくというのが基本的な方針ですが、状況によりそれとは別のクラスを担当していただくこともございます。みんなの日本語については、特に文法解説時におけるわかりやすい提示のしかたを中心に指導していきます。その他、日ごろの授業において何か問題等ないか、よりステップアップするためにいい方法はないか等、適宜ミーティングを行います。

貴校の学生はどういった方が多いのでしょうか。

学習者は、若い人を中心に学生から社会人まで、年齢は10代から50代まで幅広くいます。レベルは初級～上級まですべてありますが、初級レベルの学生がもっとも多く、それらの学生はほとんど「みんなの日本語」を勉強しています。目的はさまざままで、日本に対する興味、仕事での必要性、就職に有利、留学目的等いろいろです。弊校は日本語専門なので、日本語の授業なら何でも幅広くやっています。

中国語の能力はどの程度必要でしょうか。

中国語能力は、まずは簡単な会話ができるレベルがあれば結構です。その理由は、主に初級のクラスを担当していただきますが、日本語の初級の解説をする場合は、中国語でも初級です。板書に簡単な中国語の説明を書いたら、学生はほとんど理解してしまいます。板書の書き方については、研修で指導していきます。あとは、生活面において少しは使えた方が、より有意義な外国生活が送れるということです。

こちらに来てから中国語塾に通われても、またいいのではないのでしょうか。授業の時間との兼ね合いもありますが、そのあたりは相談することができます。

契約期間はどれぐらいでしょうか。

当校では特に契約期間を定めておりません。教師というのは、実際どれだけ教壇に立ったかの経験が非常にものをいう職業です。外国で働くこととなりますので、事情があって早く日本に帰らなければならないこともあるかと思いますが、当校にとっては長く働いていただいた方がありがたいとは考えておりますし、長く働いていただけるような環境づくりには努めております。

応募資格に『資格など特に問わない』とありましたが、貴校には日本語教師の資格を持っている方も働いていらっしゃいますか。

資格などは特に問いませんが、日本語教育能力検定に合格されている方が数名おります。

研修はどのような方を対象に行っているのでしょうか。

研修の機会は全員に提供しております。内容は日本語教師歴によって変わります。

具体的にはどのような研修なのか、教えていただけますでしょうか。

まずは日本語と中国語の言語の対照に焦点を当てた文法構造の説明をどのように行うかを中心に指導していきます。その後、授業において改善しなければいけない点等、ミーティングを通じて適宜指導していきます。

面接の日程等を教えていただけますでしょうか。

書類審査で弊校が合格と判断した時点で、現地面接もしくは電話面接(WEB面接)させていただきます。面接後、合否結果の通知を行います。

来台の流れについて教えていただけますでしょうか。

採用決定者には、採用通知後のビザ申請などスケジュールを決めさせていただきたいと思います。まずは当校で就労許可申請を行います。申請には10日程度かかります。就労許可申請には健康診断書、大学の卒業証書のコピー等が必要となりますが、必要書類の詳細については採用決定時に詳しくお伝えいたします。その後、日本にある台湾の在外公館である台北駐日経済文化代表で居留ビザ(就労ビザ)の申請(翌日発行)を行っていただき、来台していただきます。そして台湾入国後に、居留証の発行(10日程度)を行います。

台湾に赴任するとき大体どれくらいのお金を持っていけば、十分でしょうか。

弊社教師からは、大体日本円で20万円ぐらいあればいいと伺っております。主にかかるのは、住まいの保証金と最初の家賃、生活を開始するための日用品の購入、給料が入るまでの生活費になるかと思えます。

健康保険の個人負担額はいくらでしょうか。

健康保険の個人負担額は所得に応じて代わりますが、毎月400～600円程度(1,400～2,100円程度)が基本となります。風邪などで医者にかかる場合なら、薬を含めて1回150円～200円が一般的です。その他労工保険にも加入しますが、毎月600円～800円程度(2,100円～2,800円程度)となります。

住居費、インターネットの使用の可否について教えていただけますでしょうか。

住居は台南、高雄で6,000円～8,000円ぐらい(21,000円～28,000円ぐらい)、台北で10,000円～12,000円ぐらい(35,000円～42,000円ぐらい)で家具付きのワンルームを弊社が代わりに探すことができます。家具は一般的に、ベッド、机、いす、テレビ、照明で、布団さえ購入すればすぐに生活できるようになっています。あと日本と違い外食が習慣づいているので、残念ながらキッチンがないところがほとんどです。洗濯機は共用のところが多いかと思えます。インターネット及びケーブルテレビがあらかじめついているところが多いです。インターネットは学校のネットワークがブロードバンド及びWi-Fiに対応していますので、学校のパソコンもしくは持参したノートパソコンからインターネットにアクセスできますが、自宅に設置したい場合は、弊校のスタッフがお手伝いいたします。

携帯電話はどうされていますでしょうか。

シムフリーの携帯電話ならSIMカードの購入で対応できますが、そうでない場合は、台湾の携帯電話は契約期間が2年が一般的なので、プリペイド式の携帯電話を買った方がいいかもしれません。日本のスマートフォンをWi-Fi専用にして、安い携帯電話をこちらで購入される先生方も多くいらっしゃいます。

銀行口座は開設できるのでしょうか。

台湾で銀行口座は開設できます。しかし銀行口座の開設は居留証の発行後となりますので、それまではクレジットカード会社の海外キャッシングサービスを利用したりするのがいいと思います。

いただいた給料で十分生活できるのでしょうか。

あまり贅沢をせず本当に質素な生活でしたら、高雄、台南ですと家賃等含めて NT\$20,000 元(約¥70,000 円)、台北ですと NT\$25,000 元(約¥87,500 円)あれば大丈夫かと思えます。

ちなみに、2017 年、1 年通して在籍された日本人教師の月平均給与は 45,952 元(約 ¥160,000 円)でした。あと過去 1 年以内の新任日本人教師の最初の 6 ヶ月間の給与の平均給与は 36,533 元(約 ¥128,000)でした。

どの教材を持参したほうがよろしいのでしょうか。

教科書、参考書などについて、みんなの日本語等、授業でメイン教材として使用するものは、台湾版をこちらで購入することとなるかと思えますので、もし台湾版をお持ちでしたら、こちらに持ってきていただければと思います。後は、特にございません。自分が必要だと思うものを持っていただければと思います。予め当校宛に郵送していただいても構いません。こちらにいらっしゃった後、住まいまでお運びします。

皆で共有している学校の教科書、教材は、かなり多数そろっているとは思えます。

授業をする際の服装はどんなものいいのでしょうか。学校の規定等ございますでしょうか。

服装は、特に規定はございません。清潔感があり、学生に好まれる服装であればどんな服装でも大丈夫です。

旅行で台湾に行くのですが、そのときに貴校を見学させていただくことは可能でしょうか。

台北校、台南校、高雄校どちらでも可能です。採用を担当しております高山 (recruit@sakura-jp.com.tw) までお申し付けください。

台北は行ったことがあるので知っているのですが、高雄、台南はどんなところでしょうか。

台湾南部に位置し亜熱帯に属するので暑いのですが、年中暑いわけではなく、12 月ごろから 3 月ごろまでは、20℃～25℃ぐらいで天気も良く非常に過ごしやすいです。気候のせいでしょうか、台北など台湾北部と違い全体的にゆったりした感じや開放感があり、人も非常に人情味に厚く、基本的に親日的なので日本人にとっては過ごしやすいかと思えます。また、都市機能もそろっていますし、台北ほどではないですが日本食の店もそれなりにありますので、食生活で大きく困ることはないかと思えます。便利さならば、やはり日本の感覚により近い台北がいいかと思えますが、ゆったりとした台湾らしさを実感したいならば、台湾南部(高雄や台南)での生活もお薦めします。

その他わからないことがございましたら、採用担当の高山(recruit@sakura-jp.com.tw)まで、遠慮なくご質問ください。